

奈良県感染症情報

平成30年 第20週(5月14日～5月20日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	9.85	(7.62)	↑	↑	↑	↗
2	A群溶連菌咽頭炎	3.47	(1.97)	↑	↑	↑↑	↘
3	咽頭結膜熱	0.65	(0.85)	↑	↗	↑	↑↑
4	突発性発しん	0.50	(0.65)	→	↗	↘	↑↑
5	伝染性紅斑	0.44	(0.15)	↑	↑↑	↑	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の報告は、先週より増加しています。下痢や嘔吐の症状がひどい場合には、脱水症状を起こすことがあります。また高齢者は、嘔吐物を誤嚥してしまうこともあるため、体調の変化に注意が必要です。保健研究センターでは、胃腸炎症状のある中学生から A 群ロタウイルスを検出しています。ロタウイルス感染症は、乳幼児期にかかりやすい感染症ですが、その他の年齢層でも感染することがあります。手洗いは、指輪や時計ははずし、石けんで30秒以上もみ洗いするようにしましょう。

A 群溶血性レンサ球菌感染症の報告が増加しています。特に中和保健所管内西部地域は、定点当たり報告数が警報開始基準値の「8」を超えています。手洗い、うがいを励行して下さい。咽頭痛がある場合は、早めに医療機関を受診するようにしましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

夏のように暑くなったり寒くなったり、不安定な天気が続いていますが、嘔吐、腹痛、発熱、下痢の感染性胃腸炎が園児で増えています、それに伴い家族が感染しています。

水痘も増えてきている地区があります。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

気候の不順で感冒症状の例が増加。

インフルエンザはその後見られなくなりほぼ終焉の方向と思われる。

感染性胃腸炎が流行中。原因が特定された例はなかった。

その他 A 群溶血性連鎖球菌感染症、水痘が僅か。

子供が伝染性紅斑の例でその母親が全身に発赤を認めた例があったが3日ほどで消退。麻疹は臨床的に否定的。詳細は不明。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ヒトメタニューモウイルス感染症は減少してきた。

溶連菌感染症、アデノウイルス感染症(結膜炎、咽頭炎)の流行は続いている。

感染性胃腸炎は増加、外来対応できる軽症が大部分だが、ノロウイルス例では感染力が強い。

沖縄修学旅行で体調不良を訴えた中学生はいたが、麻疹ではなかった。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 20 週 5 月 14 日 ~ 20 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	3 (0.05)			2 (0.18)	1 (0.10)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	22 (0.65)	3 (0.33)	6 (0.67)	1 (0.14)	9 (1.50)		3 (1.50)	
A群溶連菌咽頭炎	118 (3.47)	14 (1.56)	30 (3.33)	14 (2.00)	57 (9.50)		3 (1.50)	
感染性胃腸炎	335 (9.85)	70 (7.78)	87 (9.67)	94 (13.43)	77 (12.83)	5 (5.00)	2 (1.00)	
水痘	7 (0.21)	7 (0.78)						
手足口病	12 (0.35)		2 (0.22)	8 (1.14)	2 (0.33)			
伝染性紅斑	15 (0.44)	3 (0.33)	1 (0.11)	8 (1.14)	3 (0.50)			
突発性発しん	17 (0.50)	7 (0.78)	3 (0.33)	1 (0.14)	4 (0.67)		2 (1.00)	
ヘルパンギーナ	2 (0.06)			2 (0.29)				
流行性耳下腺炎	2 (0.06)	1 (0.11)			1 (0.17)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	4 (0.40)	1 (0.33)		3 (1.50)				
基底定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	3 (0.50)		3 (1.50)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市3、中和3)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(中和1)
5類感染症	水痘(入院例)1件(郡山1) 侵襲性インフルエンザ菌感染症1件(中和1) 百日咳1件(奈良市1、9歳) アメーバ赤痢1件(中和1)

❖ 第20週のトピックス ❖

◆ 麻しんの予防接種の推奨の周知について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/dl/180516_1.pdf

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男				1																	2	7838
	女			1											1							1	7803
RSウイルス感染症	男																						133
	女																						110
咽頭結膜熱	男		1		3					4												15	106
	女		1		3					1												7	105
A群溶連菌咽頭炎	男	1		4	2	9	9	4	8	5	5	2	4									55	649
	女			4	10	3	7	7	5	5	4	4	8									63	572
感染性胃腸炎	男	4	7	26	17	17	21	15	18	8	4	7	17	3	15							179	1940
	女	1	8	23	13	12	14	9	11	4	6	7	15	2	31							156	1680
水痘	男			2				1	1													5	76
	女								1				1									2	100
手足口病	男			4	1		1															6	31
	女		1	3	1																	6	37
伝染性紅斑	男						4	2		2												8	38
	女				1			1		1	1	1	1									7	45
突発性発しん	男		4	4	1	1																10	151
	女		2	3	2																	7	110
ヘルパンギーナ	男			1			1															2	16
	女																						12
流行性耳下腺炎	男							1					1									2	17
	女																						17
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																					1	26
流行性角結膜炎	男						1															3	35
	女												1		1								
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						6
無菌性髄膜炎	男																						2
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男			1																		1	9
	女																						9
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																			1	28
	女		2																			2	21

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

